

福岡県精神保健福祉協会

会 長 神 庭 重 信

平成27年度事業報告

1 会 議

- (1) 定期評議員会 平成27年 6月24日(水) 福岡県精神保健福祉センター研修室
 (2) 幹事会・会誌編集委員会 平成27年 9月30日(水) 福岡県精神保健福祉センター研修室
 (3) 常任理事・幹事会 平成28年 3月23日(水) 福岡県精神保健福祉センター研修室

2 精神保健福祉講座

(1) 夏期講座

テーマ 「現代の思春期～届いていますか？子どもの声、家族の声～」

開催日 平成27年8月5日(水)～6日(木) 2日間

場 所 クローバープラザ(クローバーホール)

参加者 小・中・高等学校の教諭、養護教諭、保健師、医療福祉関係職員等 308名

8月5日

講 演 1

「思春期の子どもと家族への対応～不登校を中心に～」

講 師 うめづメンタルケアセンター 理事長 梅津 和子

講 演 2

「思春期の発達障害～子どもの困りごと、家族の困りごと～」

講 師 大阪医科大学LDセンター 顧問

大阪教育大学 名誉教授 竹田 契一

8月6日

講 演 3

「未成年の危険ドラッグ等の薬物問題の背景と援助～依存症臨床の視点から～」

講 師 埼玉県立精神医療センター 副院長 成瀬 暢也

講 演 4

「子どもを非行から守るために～問題行動は子どもからのSOS～」

講 師 警察本部少年課 北九州少年サポートセンター係長

少年育成指導官 安永 智美

(2) 冬期講座

テーマ 「成人期のメンタルヘルス～疲れたところに気づくために～」

開催日 平成27年12月2日(水)

場 所 クローバープラザ(クローバーホール)

参加者 労働分野関係者、医療福祉関係者、保健師、小・中・高等学校の教諭、
養護教諭等 224名

講 演 1

「メンタルヘルス不調の予防のための新しいストレスチェック制度

～家族や職場の仲間を支えるためのヒント～」

講 師 産業医科大学医学部精神医学講座 教授 吉村 玲児

講 演 2

「ストレス対処に活かす認知行動療法」

講 師 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

臨床技術開発室長 田島 美幸

3 精神保健地域活動事業への助成(1団体5万円)

推 薦 機 関	団 体 名	設 立 年 月	助 成 対 象
嘉穂・鞍手保健福祉環境 事務所	嘉飯山地区精神障害者家族会 いずみ会	S46年4月	プリンター、インクの購入費
福岡市	学校法人九州アカデミー学園 地域活動支援センターチロル	H16年4月	プロジェクターの購入費
北九州市	特定非営利活動法人北九州DARC 北九州ダルクデイケアセンター	H9年12月	客用ソファ、利用者の椅子の 購入費

4 精神保健福祉講演会・研修会への助成

(1) 精神保健福祉講演会

(イ) 福岡県精神保健福祉センターと共催

日 時 平成27年10月29日(木) 14:00～16:30

会 場 福岡県精神保健福祉センター 研修室

講 演 平成27年度ひきこもり支援関係者研修会

演 題 「“ひきこもる”心を理解する

～支援者にも求められる、ひきこもり状態との向き合い方～

講 師 富田醫院 院長 富田 伸

対 象 県保健福祉環境事務所職員、市町村職員、ひきこもり支援関係者等 参加人数 115名

(ロ) 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所と共催

日 時 平成27年11月22日(日) 10:00～16:15

会 場 イイズカコミュニティセンター

演 題 第3回筑豊アディクションフォーラム

「孤独からの脱却～ひとりじゃない。一緒に考えよう～」

講 師 臨床心理士 中島 美鈴

対 象 当事者家族、一般住民等 参加人員 156名

(ハ) 久留米市保健所(久留米市ゲートキーパー絆の会)と共催

日 時 平成28年1月9日(土) 13:00～16:00

会 場 ホテルニュープラザ久留米

演 題 考え方で生き方が変わる

講 師 萬年内科 医学博士 萬年孝哉

対 象 司法警察関係、医療機関、市町村等職員 参加人数 90名

5 「精神医療の向上に関する研究」に対する表彰及び助成

精神科病院等において、精神障害者医療及び保健に従事する職員の精神医療の向上に関する優秀な研究に 対する会長表彰及び助成

○表彰日・場所 平成28年1月27日(水) 福岡県精神保健福祉センター研修室

○ 表 彰 対 象 (1 0 病 院)

(順不同)

研 究 課 題	病院・研究グループ名 氏 名
外来における転倒防止ケア ～評価シートを改良して～	住田病院 看護部 越智優子
ディエスカレーションにポイントを絞ったCVPPP研修後の暴力 の現状と課題	一本松すずかけ病院 看護部 山本圭介 松本祥平 山本智之
共に悩み・共に考える ～思春期患者の退院支援を通して～	のぞえ総合心療病院 竹原瑞季 乗本共香 萩原加奈美 堀川公平
家族への想い ～家族関係修復を行い、退院支援を図った事例～	飯塚記念病院 精神科救急病棟 岸田静香
I am working at Munakata Hospital ～学ぶ努力、伝える責任～	宗像病院 看護部 粟田美智子 松本トリクシー・クストジョー 寺本由美子 竹中維奉子
患者のペースに合わせた看護 ～拒否の強い患者にどう対応するか～	甲斐病院 4階病棟 菊次陽子 荒巻恵 宮川弘一 島松博文
感情の抑制が苦手な患者への退院支援 ～ストレスモデルを通じた関わりを試みて～	静光園第二病院 東病棟1階 武下ゆり 宮村あゆみ 橋双葉 桑田武志 廣田和美 森田恵史
入退院を繰り返す患者に地域連携バスを活用して ～本人らしい生活を目指した訪問看護～	牧和会 桜台訪問看護ステーション 藤原美代 渡辺一美
「イヤイヤ」にさようなら ～マウスケアに拒否・抵抗のある認知症患者への ユマニチュード導入における有効性～	見立病院 中央1病棟 山本美穂 酒井尚子 伊藤加菜美 本多理香
デイケアでの栄養教室の取り組み	行橋厚生病院 デイナイトケア

6 メンタルヘルス講師派遣事業

(1) 福岡県国民健康保険団体連合会への講師派遣

日時 平成28年2月9日(火) 14:00～15:30

会場 福岡県国保会館 8階大会議室

研修テーマ メンタルヘルス研修「職場での精神不調とその対応」

講師 九州労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長 金澤耕介

対象 職員及び嘱託員 参加人員 125名

7 福岡県精神保健福祉大会(福岡県こころの健康づくり大会)

日時 平成27年11月6日(金) 12:30～16:00

場所 ウェルとばた 中ホール

主催 福岡県、北九州市、福岡市、久留米市、(公社)福岡県医師会、
(一社)福岡県精神科病院協会

福岡県地域精神保健協議会、福岡県精神保健福祉協会

後援 福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県教育委員会、(福)福岡県社会福祉協議会
(公社)福岡県病院協会

参加者 保健医療福祉関係者、行政関係者、学校関係者、一般県民等 290名

表彰 福岡県知事表彰(個人5)

福岡県地域精神保健協議会長表彰(個人12, 団体2)

アトラクション「音楽で心を癒しましょう!」

演奏 響ホール室内合奏団

講演 「こころのストレッチ～柔らかな心で明日を生きてみませんか～」

講師 佐久間 レイ(声優、脚本家)

8 全国大会等

(1) 第63回精神保健福祉全国大会

テーマ 地域と人の結びつき

開催日 平成27年10月30日(金)

主催 厚生労働省、(公社)日本精神保健福祉連盟

会場 コラニー文化ホール小ホール(山梨県甲府市)

内容

①記念式典

平成27年度精神保健福祉事業功労者表彰式において、当協会推薦の次の個人・団体が受賞

・厚生労働大臣表彰

個人表彰：山野ヒデ子氏

(社会福祉法人「向上社」アドバンスセンター理事長：保健師 田川市)

団体表彰：ほっと福祉会(理事長 犬塚義光 福岡市)

・(社)日本精神保健福祉連盟会長表彰

個人表彰：今村達三氏(若戸病院事務長 北九州市)

末廣正子氏(門司松ヶ江病院看護部長 北九州市)

団体表彰：直方鞍手精神保健福祉研究会(通称ふれあいHAND)

(会長 高山定文 直方市)

②アトラクション

「甲州弁ラジオ体操」：山梨県精神障害者社会復帰関係施設連絡会の選抜メンバー他

「太鼓演奏」：和太鼓アンサンブル「阿羅漢」

③記念講演「キャン・ユー・スピーク甲州弁?～甲州弁で地域をつなぐ～」

講演者：五緒川 津平太(作家)

④シンポジウム「やさしさでつくる共生社会～高齢者の生きがい～」

座長：山梨県精神保健福祉協会 会長 松井紀和

シンポジスト：平井出設子、池谷進、野澤次男

(2) 全国精神保健福祉連絡協議会

理事会・総会並びに懇話会

開催日・場所 平成27年10月29日(木) 山梨県立図書館多目的ホール(甲府市)

(3) 平成27年度九州精神保健福祉協議会理事会

開催日・場所 平成27年11月27日(金) 日本料理 水前寺羅生門「ホール」(熊本市)

- 議 題 平成26度の決算報告について
平成27年度予算(案)について
各県提出議題及び情報提供について討議
- ①新規会員等の入会案内の取り組み状況について (宮崎県)
 - ②精神保健福祉協会の活動内容の理解と周知の取り組みについて (熊本県)
 - ③九州精神医療学会における研究発表に対する表彰制度について (福岡県)

9 会誌「ふくおか精神保健」の発行

第61号 平成28年3月末日発行予定

- (1) 特集「飲酒運転の撲滅をめざして」6本
- (2) 27年度精神保健福祉講演録
 - ・夏期講座「現代の思春期～届いていますか？子どもの声、家族の声～」
大阪教育大学 名誉教授 竹田 契一
埼玉県立精神医療センター 副院長 成瀬 暢也
 - ・冬期講座「成人期のメンタルヘルス～疲れたところに気づくために～」
産業医科大学医学部精神医学講座 教授 吉村 玲児

10 精神保健福祉「社会資源名簿(第12版)」の発行

平成28年3月末日改訂版発行予定を、4月末日に延期
(平成28年4月1日現在の情報を盛り込むため)

11 その他参考事項

九州医事新報の掲載記事

- ・精神保健福祉夏期講座(7月20日と9月20日発行分)
- ・こころの健康づくり大会(11月20日発行分)
- ・精神保健福祉冬期講座(12月20日発行分)
- ・「精神医療の向上に関する研究」に対する表彰式(2月20日発行分)

12 福岡県精神保健福祉協会会員の現況〔平成28年3月31日現在〕

地域別	会員別 特別会員	一般会員		合計
		団体会員	個人会員	
福岡地区	67	6	320	393
北九州地区	30	1	61	92
筑後地区	31	1	113	145
筑豊地区	21		73	94
県外			4	4
合計	149	8	571	728

平成28年度事業計画

今年度の目標

(1) 精神保健福祉に関する一般的啓発教育活動の取組

平成27年の国内自殺者数は、さまざまな取組の成果もあり、23,971人(速報値)と4年連続で3万人を下回り、6年連続で減少した。しかしながら、自殺やうつ病による社会的損失は2兆7千億円(2009年推計)ともいわれている。このような中、昨年12月1日から改正労働安全衛生法に基づき、50人以上の職場では新しい「ストレスチェック制度」が始まった。また、発達障害や不登校・ひきこもりなどにより学校や職場でうまく適応できない当事者や家族並びに周囲の人たちへの支援も求められている。このため、当協会においても実りある講演会(精神保健福祉講座)を開催するとともに、保健所や市町村が主催する研修会等への助成を行うこととし、引いては精神保健福祉思想の正しい理解と普及に努める。

(2) 収入増の取組

各種事業を継続的・発展的に実施するためには、安定的な収入の確保が必要である。このため、魅力ある講演会の開催による受講料収入の増や、今年度改訂した「社会資源名簿(第12版)」を活用した新規会員の獲得による会費収入増に取り組む。

主な事業

1 会議の開催

- (1) 定期評議員会 平成28年6月15日(水)
- (2) 常任理事・幹事会 年1回

- (3) 幹事会 年 1 回
 (4) 会誌編集委員会 年 1 回

2 精神保健福祉講座

(1) 夏期講座

テーマ 「現代社会に生きる子どもたちの未来へのステップ
 ～健やかな成長を育み、ともに生きていくために～」
 期 日 平成28年8月3日(水)・4日(木) 2日間
 会 場 クローバープラザ
 対 象 幼稚園・保育所等の職員、小学・中学・高等学校の教諭、養護教諭
 保健師、医療・福祉関係職員、その他関心のある方
 募集人員 300人

(2) 冬期講座

テーマ 「成人期の発達障害と依存症」
 期 日 平成28年12月21日(水) 1日間
 会 場 クローバプラザ
 対 象 労働分野関係者、医療・福祉関係職員、保健師、小学・中学・高等学校の
 教諭、養護教諭、幼稚園・保育所等の職員、その他関心のある方
 募集人員 300人

3 精神保健地域活動事業への助成

地域活動を推進する作業所等への助成 4団体

4 精神保健福祉講演会・研修会への助成

- (1) 自殺防止事業助成
 福岡県精神福祉センター及び保健所等と共催 年3回
 (2) 精神保健福祉講演会
 保健所と共催 年2回
 市町村と共催 年1回

5 「精神医療の向上に関する研究」に対する表彰及び助成

九州精神医療学会で発表の優れた研究に対する会長表彰及び助成 10グループ

6 メンタルヘルス講師派遣事業

会員及び各種団体等が講演や講話を行う際の講師派遣

7 大会等

- (1) 全国精神保健福祉連絡協議会 常務理事会 平成28年 9月(東京都)
 (2) 全国精神保健福祉連絡協議会 理事会・総会 平成28年10月(群馬県)
 (3) 第64回精神保健福祉全国大会 平成28年10月(群馬県)
 (4) 福岡県こころの健康づくり大会 平成28年11月(筑豊ブロック)
 (5) 九州精神保健福祉協議会 理事会 平成28年12月(沖縄県)

8 会誌「ふくおか精神保健(第62号)」発行

9 精神保健福祉「社会資源名簿(第12版)」の発行

10 その他必要となる事業

- ・九州医事新報への情報提供